

## 地域に愛され続ける学校を目指して

令和5年度両津吉井小学校学校運営協議会

会長 矢田 親成

新緑の候 両津吉井小学校区の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年度に引き続き学校運営協議会長を務めさせていただきこととなりました。今年度も、学校と地域住民との信頼関係を深め学校運営の改善や児童の健全育成に努めるために全力を尽くす所存です。

ところで、昨年、両津吉井小学校存続要望書の趣旨に賛同する地域の方々902名の署名簿を市当局に提出したことにより、両津吉井小学校と加茂小学校の前期統合計画が、後期統合計画に移行しました。902名という両津吉井小学校区の多くの方々の願いを市当局が重く受け止めた結果と考えます。しかし、今後も両津吉井小学校の児童数減少が避けられない現状では、令和9年度からの後期統合計画を受け入れざるを得なくなります。そこで、地域に愛され続ける学校として存続していくためには、児童数を現状維持か、それ以上になるような方策を考えていく必要があるがあります。その一つとして、地域の空き家活用があります。実際に以下のような取組をしている地域もあります。

### 金屋小学校区 おらだり育援隊からのお知らせ

おらだり育援隊は、「金屋小と金屋小学区がこれからも持続していくこと」を目的として、今年3月から活動しています。

現在は、金屋、大津、海老江など金屋小学区の空き家情報を集め、空き家を貸したい所有者と借りたい子育て世代とのマッチングに取り組んでいます。空き家や空き地の情報をお持ちの方、遠方において空き家の管理が気になる所有者をご存じの方は、右記のメールアドレスにご連絡ください。✉[oradari.ikuentai@gmail.com](mailto:oradari.ikuentai@gmail.com) (おらだり育援隊 須貝)

### 【空き家の持ち主と子育て世代をつなぎます】

#### 【子育て世代の思い】

- ・アパートより安く借りたい
- ・生活音を気にせず、のびのびと子育てしたい
- ・温かみがあり安全な地域で子育てしたい



#### 【所有者の思い】

- ・遠くにいて管理が大変
- ・固定資産税だけ払っていて負担
- ・故郷のために役立てたい

このような取組を両津吉井小学校区でもやって行けたらと考えます。その外にも、今年度から文部科学省が本格的に始める「不登校特例校」に名乗り出ることや、松ヶ崎小中学校等で行っている「離島留学」に取り組むことなども考えられると思います。

令和9年度まで今年度を入れてあと5年しかありません。その間に児童数を増やす方策を学校と地域が一体となって具体的に進めていかなければなりません。学校運営協議会の中でも上記のような方策に取り組むには今後どのようにして進めていけば良いか等について話し合っていきたいと考えています。

### 令和5年度 学校運営協議会 委員の紹介

会長	矢田 親成	副会長	武部 健一 (おやじの会会長)
委員	伊藤俊二 (上横山自然公園をつくる会)・佐々木雅伸 (吉井分館協議会長) 田中照夫・逸見安正・源田俊夫・堀川悟 (CSディレクター)・小野淳子 (吉井保育園長) 黒田 剛 (PTA会長)・源田証子 (PTA副会長)・後藤修治 (校長)		
事務局	金子 亘 (教頭)		

※ 学校の活動や児童の様子など、お気付きのことなどありましたら、気軽にお声をお掛けください。

## 1 後藤校長のあいさつ

新型コロナ対策の緩和を受けてマスクのない学校生活がスタートした。しかしながら、現在約7割の児童がマスクを付けている。児童には「マスクをすることも、しないことも、どちらも正しい。」「個々の事情を理解する。」と話している。今後の教育活動も通常に戻り、修学旅行・運動会（地区運動会も）も通常通り実施する予定となっている。

## 2 令和5年度の組織について

会長に矢田親成さんが選出され、副会長に武部健一さん、CSディレクターに堀川悟さんが会長より委嘱された。

## 3 矢田会長のあいさつ

統合に関しては、学区住民等の署名などの取組により、前期統合から後期統合に変更することができた。両津吉井小学校の存続のためには、児童数を増やしていくことが必要となる。

その取組として3つの例を紹介した。

- ① 空き屋と子育て世代のマッチング事業
  - ・子育て世代の移住を促進
- ② 離島留学生の受け入れ
  - ・市内では、松ヶ崎・内海府小中学校で実施
- ③ 文部科学省の不登校特例校として
  - ・市内の不登校児童生徒の受け入れ

学校運営協議会として、どのような取組ができるかを考え、できる限りの支援をしていきたい。

## 4 協議

### (1) 学校の教育活動について

グランドデザイン・学校評価計画は、昨年度と変更がないこと、ふるさと学は、全学年で「自然環境」「伝統芸能」をテーマに継続的に進めているとの説明があった。ふるさと学について、礼状や感想を送っていることや発表会の取組については、高く評価されていた。また、「自然環境」のテーマでは、トキ・米・加茂湖のそれぞれの関連性や繋がりについても学ぶことも大切であり、6年生はその集大成としての発表会などを行ってはどうか、との意見が出された。

### (2) 学校協働活動について

放課後子ども教室の活動計画、学校支援ボランティアの登録状況の説明があった。子ども教室については、「学習を優先させて欲しい。」「遊びの日の活動内容を知らせて欲しい。」との意見が寄せられた。

### (3) その他

学校運営協議会だよりを年3回、全戸配付で発行することが提案され、確認された。

## 3 武部副会長のあいさつ

息子と孫が吉井小学校にお世話になっています。夏休みに帰ってきたとき、桜が咲いたときなど、母校の存在は貴重である。両津吉井小学校を守っていきけるよう取り組んでいきましょう。

## 教育目標達成のための3つのプロジェクトと評価基準(達成目標)

立 志 プロジェクト	社会力 プロジェクト	確かな学び プロジェクト
◎ <b>自分を知り、夢・志(目指す生き方・あり方)をもつ子</b> ○ 自立的にやり抜く力をもつ子 ○ 自分ごととして、郷土に愛着と誇りをもつ子	◎ <b>自己有用感をもつ子</b> ○ いじめや暴力・暴言を許さない子 ○ 自分の気持ちや思いを相手意識のある言葉で伝える子	◎ <b>根拠をもとにした話し合いができる子(対話のステップ)</b> ○ 自律的な家庭学習習慣を確立している子 ○ 学習規律を身に付けている子(学びのステップ)

◎ **評価基準(達成目標)** 児童アンケートと家庭学習カードの結果で評価します。

**立 志**……………自分の夢・志をもち、それにあつためあてを立て、努力して取り組む子とができる児童が85%以上

**社会力**……………人の役に立てることを嬉しいと感じる児童が90%以上

**確かな学び①**…課題解決に向けて根拠をもとにした話し合いができたと思う児童が75%以上

**確かな学び②**…10分以上×学年の家庭学習を毎日達成できている児童が80%以上